

施設名 サニーヒルズみずなみ

委員名 塚本委員、水野委員

区分	項目	評価			評価者のコメント	施設の対応等
		A	B	C		
IV 2	食事	① 栄養ケア計画(個別支援計画)に基づいた食事サービス		B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の急激な体重増加は見られない。食事の量を個人で減らしている利用者が見られる。計画に盛り込まれると良い。 ・利用者の要望に添った食事献立をお願いしたい。 ・残飯量の減少について検討をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりのカロリー等を計算し、必要な食事量の提供をおこなっております。今後も、栄養ケア計画や嗜好調査などから本人の思いなどを聞き取り計画に反映させていきます。 ・月1回の食事検討会議(利用者代表2名)や嗜好調査から利用者の要望を伺っております。伺った意見等を委託業者と連携を図りながら献立に反映できるように努めていきます。 ・毎日の残飯量を計測し、栄養士と委託業者が連携を図りながら残飯量を把握しております。残飯の多いときや少ないときを分析し、献立に反映し残飯の量が少なくなるように引き続き取り組んでいきます。
		② 利用者の嗜好を考慮した献立、楽しくする工夫	A		<ul style="list-style-type: none"> ・業者及び栄養士が変わり美味しくなったと意見があった。 ・厨房職員は利用者の意見を聞いてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事検討会議、利用者懇談会、嗜好調査などを通して、栄養士が中心となり厨房委託業者と連携を図りながら引き続き満足いただける食事提供に心がけていきます。
		③ 喫食環境への配慮	A		<ul style="list-style-type: none"> ・介助者が座って介助するようになったことは大いに評価できる。 ・利用者同士、職員との適度な会話があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの状況を考え、利用者一人ひとりが楽しく、おいしく食事が出来るように取り組んでいきます。
	入浴	① 利用者の個人事情への配慮	A		<ul style="list-style-type: none"> ・個人の状況に応じ、スライドボード等を使用している。 ・十分配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安心・安全な支援、職員の負担軽減を考え、積極的に介護機器などを導入し、利用者の個人事情に合った支援に取り組んでいきます。
		② 利用者の希望に沿った入浴	A		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望に添った入浴が行われている。 ・時間に余裕を持った入浴になるよう配慮願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりに対し余裕を持った支援が行えるように業務の内容の見直しを含め改善できるように検討し取り組んでいきます。
		③ 浴室・脱衣場の環境		B	<ul style="list-style-type: none"> ・建物構造に問題はあるが、カーテン等で工夫されている。 ・整理整頓に心がけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱衣場については、棚などを設置し、どこに何を置くのかを決め、清潔感が保てるように取り組んでいきます。
	排泄	① 排泄介助の快適さ		B	<ul style="list-style-type: none"> ・消臭器がもう少しあっても良い。 ・カーテン仕切りの改善が必要。 ・利用者を待たせていない認識であるが、利用者は待っていると感じている。説明することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの臭い等に配慮し消臭剤の設置を増やしたり、トイレの清掃に配慮し対応します。 ・一部の利用者は自由にトイレに行かれております。手の不自由な方はカーテンによる仕切りのほうが出入りがしやすいことや限られたスペースの中で個人のプライバシーを守る必要があることから建物の構造などを考えカーテンによる仕切りとしておりました。トイレの場所によって利用される方がある程度特定することができるため、場所によってカーテンの種類を変えることや扉に近いものに変えるなど検討を行っていきます。 ・利用者が感じていることを全職員に周知し、何を優先すべきなのか、今何をすべきなのかをもう一度研修等を通して現状の改善に取り組んで行きます。
		② トイレの清潔さと快適性		B	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレのゴミ捨ては回数を増やされた。 ・安心して利用いただくためにももう少し配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ内の状況等を職員等で話し合い利用者一人ひとりが安心・安全に利用できるように改善を図っていきます。

日常生活支援	衣類	(4) ① 利用者の個性や好み、TPOに応じた衣類の選択	A		<ul style="list-style-type: none"> ・業者が利用者が希望されるものを定期的に売りに見えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より自分の好みの衣類が購入できるように販売業者と連携を図りながら年に数回園内販売の実施を行っております。また、利用者の希望に応じた衣類を着ることができるように継続して取り組んできました。引き続き利用者の好みやTPOに応じた衣類の選択を支援していきます。
		② 衣服の着替えや汚れへの対応	A		<ul style="list-style-type: none"> ・汚れた場合にすぐに対応できている様子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望があった場合や衣類に汚れたがあった場合などは迅速に対応するように取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいきます。
	健康管理	(7) ① 日常の健康管理	A		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の数も多く、ワーカー職員とのチームプレーが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種協力体制により、利用者一人ひとりの日々の表情や健康状態を共有し適切な健康管理が図れるよう継続して取り組んでいます。
		② 必要時に、迅速かつ適切な医療支援	A		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の負担は重い頑張っていたきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療支援は看護師が常に中心となって迅速かつ適切な判断により支援していかなければなりません。また、夜間は正規職員の看護師が交代で自宅での待機をおこなっております。そのため看護師への精神的な部分も含めた負担は非常に大きなものとなっていることは事実です。重症心身障害者の方への対応などは喀痰吸引の研修を受講しケアワーカーで痰の吸引等が出来るように研修の受講を進めております。また、全職員が協力・連携を図りながら適切な医療支援ができるよう継続して取り組んでいきます。
		③ 薬の取り扱いと管理		B	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の飲みこぼしについては、特定できるので対策を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ごとの薬の取り扱いについて一覧表を作成し配役箱に備え付け、どのように薬を配布するのか全職員が分かるように改善していきます。また、薬の飲みこぼしがある利用者については、薬の配薬時に服薬していただき職員がその場で確認できるように対応します。

	A	B	C
第三者評価結果	8	5	0